

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 26 日 作成
20年度決算把握後平成 21 年 6 月 日 作成

事務事業名	合志小跡グラウンド整備事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり	所属部	教育委員会事務局教育部	課長名 生涯学習課
	施策	20	生涯学習の推進	所属課	スポーツ振興班	担当者名 高木 敏明
	基本事業	70	生涯学習・スポーツ施設(環境)の整備	所属班	三苦 幸浩	(内線) 1507
				法令根拠		

予算科目	会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	-
	1	10	6	2	11362			コスト削減優先度評価結果	-

事業期間 単年度のみ 単年度繰返(開始年度 年度) 期間限定複数年度 (20 ~ 22 年度)

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)
【事業の内容】
 実施設計、整備工事
【業務の流れ】
 設計書作成、入札準備、施工管理、検査事務、支払事務
【主な予算費目】
 委託料、工事請負費

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 地元自治会や市議会からのさらなる整備要望や決議に対して、平成21年度に実施設計を行ない、平成22年度において整備工事を行なうと回答した。	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 地元自治会の要望などを考慮した実施設計を行う。
	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ア 実施測量面積 m イ 施工済面積/全体計画面積 %
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 利用者	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア 利用者数 人 イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 快適に利用できる	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア 苦情件数 件 イ
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 活動する場がある	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) ア 学習・スポーツに親しむ施設が整っていると思う市民の割合 % イ

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 20 ~ 22 年度
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限 定 複 数 年 度 の み 記 載) 0 0 0 0
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	一般財源	千円					500	5,500		
	(A) 事業費計	千円		0	0	0	500	5,500	0	
	うち指定経費	千円								
	うち時間外、特殊勤務手当	千円								
	人件費									
正規職員従事人数	人				1	1	1			
延べ業務時間	時間				10	20	20			
(B)人件費計	千円		0	0	0	40	80	80	0	
トータルコスト(A)+(B)	千円		0	0	0	40	580	5,580	0	

活動指標	ア m イ %				0	16103.43	16103.43		目 標 合 計 値 画 22 年 度
対象指標	ア 人 イ				10108	10100	10200		
成果指標	ア 件 イ				0	0	0		
上位成果指標	ア % イ				75.1	74.5	75		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等
 ① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
 平成19年12月に地域運動広場の施設として生涯学習課が管理することが決定され、平成20年3月にはトイレを設置した。しかし、地元区長や議会からのさらなる整備要望によりこの事務事業を企画したものである。
 ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
 特段の変化は予想されない。
 ③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
 近隣5区長からのさらなる整備要望や平成20年第1回定例会において「旧合志小学校跡地の整備に関する決議」が可決されるなど早期整備が望まれている。

事務事業名	合志小跡グラウンド整備事業	所属部	教育委員会事務局 教育部	所属課	スポーツ振興班
-------	---------------	-----	-----------------	-----	---------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 結果の「活動する場がある」の『場』を整備するため、政策体系との整合性に問題はない。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 市が管理する施設であるので、当然市が行う事業であると考えます。
	③対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 ・施設を利用する市民(市外者含む)を対象とした。 ・利用可能な面積が増えるといろいろな競技が行なえるため、利用者が増える。利用者増は結果の「活動する場がある」に結びつくため意図に設定した。
有効性 評価	④成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ・現在の『苦情』はグラウンド整備に関してのものである。従って整備を行えば『苦情』は減少する。
	⑤廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) グラウンド整備を行わないと成果の『苦情』件数は大幅に増加する。
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) 合志小跡グラウンドを使わないで、その他のグラウンドを利用してもらおう。 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 新しい合志小学校舎の用地となった旧合志町中央町民グラウンドに代わるグラウンド整備を求められているものである。隣にある合志小跡地をグラウンドとして整備することが最善である。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 平成20年度においては、必要最小限に人員で事業対応した。(事業費は人件費のみ)
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 効率的な業務ができるよう心がけて取り組んだ。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 施設利用者に、施設使用料とは別に整備に係る負担を別途求めることはできない。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)												
<table border="0"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	→
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											
② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持																						
	低下																						

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	3	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	7	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)